

第1問 【30点】

問1 ① F ③ B 問2 1 ② ア・エ 2 ④ イ・エ (1、2とも完全解答)

第2問 【40点】

問1 イ

問2 解答例

続いて、「朝夕の時間の有効活用」「家庭生活と仕事の両立」が約5割の回答を得た。前者は自分自身のための時間の充実を、後者は家庭での役割のための時間の充実を表す。両者の結果から、時差出勤により、より豊かで余裕のある生活が可能になったと推測できる。(22字×6行)

第3問 【50点】 作成例

西村様のおかげで、生産ラインでの最新機器の活用について、さまざまな取り組みを拝見することができました。なかでも勉強になったのは、ロボットに弁当の盛り付けをさせて従業員はそのチェックだけを行う取り組みや、腕時計型端末で生産管理を行う取り組みでした。これらは、弊社における生産ラインを効率化する上で、大変参考になります。

今回はご多忙のところ誠にありがとうございます。西村様の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

まずは書面にてお礼申し上げます。

草々

(22字×13行)

第4問 【80点】

作成例1 「効果的である」立場

新卒で就職した会社では、最初、販売と事務補助の業務を担当した。上司は厳しく、お客様へのあいさつの声が小さいと毎日注意され、帳簿づけでは1行間違えて記入して叱られ、入社1か月たったときにはもう辞めたい気分になっていた。そんなとき、先輩から「自発的にコピー用紙の補充や棚の整理をしてくれて助かる。だれにでもできることじゃないのに、すごい」とほめられた。オフィスの整理整頓などしていても、だれも気づいてくれないだろうと思いながら続けていたので、認めてもらえて、とてもうれしかった。それがきっかけで、他の業務も期待に応えられるように努力を続けようと思えた。そんな私も今では後輩の指導に当たっている。各人の長所を見つけ、ほめるようにしているのは言うまでもない。

だれでもほめられるとうれしいし、やる気になる。だから、後輩や部下を指導するときは、ほめて伸ばすのは効果的である。

初心者にはだれでも、何もうまくできていないというような心細い気持ちになる。だが、小さなことでもほめられると、自分を認めてもらったことがわかり、自信をつけることができる。できなかったことに挑戦する勇気がわき、その結果として成長していく。

ほめられるとそれで満足してしまうので、本人の成長を止めてしまうことになる懸念を示す人もいる。しかし、ほめられて満足して成長が止まるかどうかは本人次第である。成長が止まるタイプには、ほめると同時に次の目標を与えればよい。ほめることが悪いわけではない。(22字×30行)

作成例2 「効果的ではない」立場

新学期、私の所属する剣道部にも新入部員が六人入部した。全員が初心者だったが、だれ一人落ちこぼれることなく、剣道部員として成長していったほしいというのが私たち上級生の総意だった。そこで各人をよく見て長所を見つけ、なるべく多くほめることにした。私たちは練習があるたびに、足さばきがうまい、素振りができた、と何度もほめた。すると、新人たちはそれでもう強くなれたと勘違いして、熱心に練習しなくなった。そこで、私たちは後輩指導の方針を練り直して、ほめるのではなく丁寧に欠点や課題を伝えるようにした。しばらくすると、新人たちは自身の課題を把握し、各人がそれに向かって努力するようになった。

ほめて伸ばそうとすると、ほめられた方がそのままでもいいと勘違いすることがある。後輩や部下を指導するとき、ほめて伸ばすのは効果的ではない。

初心者に限らず、人はだれでもほめられると、もはや期待されたレベルに達していると勘違いしてしまう。すると、自分の欠点や課題に気づきにくくなり、自信過剰になってしまう。その結果、努力しなくなり、成長が止まってしまう。

一方、ほめられないとやる気を起こさないから、ほめた方が効果的だという意見もある。しかし、それなら、ずっとほめ続けなければならぬにできないことになる。それでは本人がなかなか独り立ちできない。本人のためにも、ほめずにやる気になるような指導の工夫をするのがよい。

(22字×28行)



第2問 問2 (30点)

チェックポイント	配点
(1)必要な要素を落とさずに選択できているか	12
(2)選択した要素について、中心的な事柄を書けているか	12
(3)誤字や脱字、文法のミスがないか	6

第3問 (50点)

チェックポイント	配点
(1)状況説明にある伝えるべきポイントを漏らさずに記載しているか	18
(2)手紙を書く目的に合わせた構成で、相手に合わせた敬意表現ができているか	20
(3)表記・表現に誤りがないか	12

第4問 (80点)

作成例にある記号の意味

A: 事実 **B**: 意見 **C**: 理由 **D**: 異なる意見とそれに対する反論

チェックポイント	配点
構成: 事実・意見・理由・異なる意見とそれに対する反論の4段落になっており、段落の関係は論理的であるか	20
第1段落: 事実は具体的で、イメージが思い浮かぶようなものであるか	10
第2段落: 自分の意見が、はっきりと示されているか	10
第3段落: 意見に納得できるように、理由が説明されているか	10
第4段落: 異なる意見は反対の立場のもので、それを否定する反論が述べられているか	10
表記: 誤字脱字などのミスがないか	10
表現: 語句の誤用、文法の誤りなどのミスがないか	10

*行数不足、行数超過は採点対象外(0点)です。
実際の採点では部分点等を規定しております。